

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科		科目		期間	担当者	
国語	国語総合	単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間	石見 仁唯奈		
指導目標						
1. 文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え要旨や要点を把握する						
2. 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用し理解する						
スクーリング	全 24 回	面接指導： 8回 講義： 14回	教科書	教育出版		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	プリント		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	清兵衛と瓢箪①		○	第1回(5/15)
2	4/24	月	清兵衛と瓢箪②		○	
3	5/1	月	清兵衛と瓢箪③		○	
4	5/8	月	清兵衛と瓢箪④	○		
5	5/15	月	漢文基礎		○	第2回(6/5)
6	5/22	月	蛇足①		○	
7	5/29	月	中間試験			
8	6/5	月	蛇足②	○		
9	6/12	月	フィクションの役割①		○	第3回(7/10)
10	7/3	月	フィクションの役割②		○	
11	7/10	月	フィクションの役割③		○	
12	9/4	月	試験まとめ	○		
13	9/11	月	期末試験			第4回(10/16)
12	9/25	月	伊勢物語 芥川①		○	
13	10/2	月	伊勢物語 芥川②		○	
14	10/16	月	伊勢物語 芥川③	○		
15	10/23	月	俳句		○	第5回(11/13)
16	11/6	月	俳句 短歌	○		
17	11/13	月	中間試験			
18	11/20	月	短歌		○	
19	11/27	月	江雪	○		第6回(1/22)
20	12/4	月	江雪 涼州詩		○	
21	12/18	月	涼州詩	○		
22	1/15	月	論語		○	
23	1/22	月	論語	○		
24	2/5	月	期末試験			

27						
28						第7回(/)
29						
30						
31						
32						第8回(/)
33						
34						
35						

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者		
国語	現代の国語・言語文化	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	通年	石見 仁唯奈		
指導目標						
1. 作品を自分の考えを持ちながら読解し、思考する力、表現する力を養う。						
2. 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え作品の解釈を深める。						
スクーリング	全24回	面接指導： 8回 講義： 14回	教科書	第一学習社		
レポート	全6回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	なし		
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	「生きもの」として生きる①	○		第1回(4/27)
2	4/27	木	「生きもの」として生きる②		○	
3	5/11	木	「生きもの」として生きる③		○	
4	5/18	木	「生きもの」として生きる④	○		
5	5/25	木	中間試験			
6	6/1	木	話して伝える		○	第2回(5/18)
7	6/15	木	話して伝える		○	
8	6/22	木	話して伝える		○	
9	6/29	木	児のそら寝①	○		
10	7/13	木	児のそら寝②		○	
11	9/7	木	児のそら寝③	○		第3回(6/22)
12	9/13	木	期末試験			
13	10/12	木	水の東西①	○		
14	10/19	木	水の東西②		○	
15	11/2	木	水の東西③		○	
16	11/9	木	水の東西④	○		第4回(9/7)
17	11/16	木	書いて伝える		○	
18	11/22	木	中間試験			
19	11/30	木	書いて伝える		○	
20	12/14	木	訓読の基本	○		
21	1/18	木	訓読の基本		○	第5回(11/9)
22	2/8	木	漁夫の利①	○		
23	2/15	木	漁夫の利②		○	
24	2/29	木	期末試験			
						第6回(1/18)

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科		科目		期間	担当者	
国語		現代の国語・言語文化		単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	通年	石見 仁唯奈
指導目標						
1. 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉える						
2. 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え作品の解釈を深める						
スクーリング	全31回	面接指導： 8回 講義： 19回	教科書	第一学習社		
レポート	全6回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	なし		
定期試験評価割合	80%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	「本当の自分」幻想①		○	第1回(5/11)
2	4/20	木	「本当の自分」幻想②		○	
3	4/27	木	「本当の自分」幻想③		○	
4	5/11	木	「本当の自分」幻想④	○		
5	5/18	木	古文基礎		○	第2回(6/22)
6	5/25	木	中間試験			
7	6/1	木	枕草子 春はあけぼの①		○	
8	6/15	木	枕草子 春はあけぼの②		○	
9	6/22	木	枕草子 春はあけぼの③	○		第3回(7/20)
10	6/29	木	ものとことば①		○	
11	7/6	木	ものとことば②		○	
12	7/13	木	ものとことば③		○	
13	7/20	木	ものとことば④	○		第4回(10/12)
14	9/13	木	期末試験			
15	9/28	木	なよ竹のかぐや姫①		○	
16	10/5	木	なよ竹のかぐや姫②		○	
17	10/12	木	なよ竹のかぐや姫③	○		第5回(11/30)
18	10/19	木	鏡①		○	
19	11/2	木	鏡②		○	
20	11/9	木	鏡③		○	
21	11/16	木	鏡④	○		第6回(2/1)
22	11/22	木	中間試験			
23	11/30	木	漢文基礎		○	
24	12/14	木	漢文基礎	○		
25	12/21	木	虎の威を借る狐①		○	第6回(2/1)
26	1/11	木	虎の威を借る狐②		○	
27	1/18	木	虎の威を借る狐③	○		
28	2/1	木	唐詩の世界①		○	
29	2/8	木	唐詩の世界②	○		第6回(2/1)
30	2/15	木	試験まとめ		○	

31	2/29	木	期末試験			

教科	科目		期間	担当者
地歴	歴史総合		単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間 北田 邦夫
指導目標				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
スクーリング	全 35 回	面接指導： 14 回 講義： 15 回	教科書	実教出版 歴史総合
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	「歴史総合」とはどんな科目？ プレテスト	○		第 1 回(4/25)
2	4/25	火	江戸時代の日本と東アジア		○	
3	5/2	火	イギリスの産業革命		○	
4	5/9	火	アメリカ独立戦争	○		
5	5/16	火	フランス革命①		○	
6	5/23	火	〃 ②	○		
7	5/30	火	前期中間試験			
8	6/6	火	試験返却・アメリカ合衆国の発展(南北戦争)とラテンアメリカの独立	○		
9	6/13	火	アヘン戦争の衝撃と日本の開国		○	第 3 回(6/20)
10	6/20	火	江戸幕府の滅亡		○	
11	6/27	火	英仏の繁栄と伊独の統一	○		
12	7/4	火	明治政府の諸改革と文明開化	○		
13	7/11	火	自由民権運動と大日本帝国憲法		○	第 4 回(9/5)
14	9/5	火	帝国主義の時代へ	○		
15	9/12	火	前期期末試験			
16	9/19	火	試験返却(特別時間割)			
17	10/3	火	朝鮮をめぐる国際関係と日清・日露戦争		○	第 5 回(10/10)
18	10/10	火	第一次世界大戦と日本(VTR 大量破壊兵器の登場)	○		
19	10/17	火	ロシア革命とソ連の成立		○	
20	10/24	火	米騒動とデモクラシー		○	
21	11/7	火	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	○		第 6 回(11/14)
22	11/14	火	アジアの民族運動(VTR ガンジーの非暴力の戦い)		○	
23	11/21	火	後期中間試験			
24	11/28	火	試験返却・広がる社会運動と普通選挙の実現	○		
25	12/5	火	夜と霧(VTR ユダヤ人虐殺)		○	第 7 回(12/19)
26	12/12	火	ファシズムの時代(なぜヒトラーは政権を握れたのか?)	○		
27	12/19	火	満州事変と軍部の台頭・日中戦争へ		○	

28	1/16	火	第二次世界大戦と日本		○	第8回(2/20)
29	1/23	火	アジア太平洋戦争と日本の敗戦	○		
30	2/6	火	日本の戦後改革と東西冷戦	○		
31	2/13	火	日本の高度経済成長とベトナム戦争		○	
32	2/20	火	冷戦の終結と地域紛争	○		
33	2/27	火	後期期末試験	/	/	
34	3/5	火	試験返却 (特別時間割)	/	/	
35						

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科		科目		期間	担当者	
地理歴史・公民		公共		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	通年	椿 友輔
指導目標						
人間と社会についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質能力を育成する。						
1. 諸資料から倫理的主体などを通じて活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。						
2. 選択・判断の手がかりとなる考え方、公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。						
3. 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。						
スクーリング	全 26 回(時間)	面接指導：11回(時間) 講義：15回(時間)	教科書	第一学習社 高等学校 新公共(教711)		
レポート	全 8 回	添削指導：7回 その他：1回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	前期：2回 後期：2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	ガイダンス・社会に生きる私たち①		○	第1回目 (5/19)
2	4/27	木	社会に生きる私たち②		○	
3	5/11	木	個人の尊厳と自主	○		
4	5/18	木	これまでの振り返り～中間試験に向けて～		○	第2回目 (6/30)
5			中間試験		○	
6	6/1	木	答案返却・世界宗教と民族宗教		○	
7	6/15	木	幸福と正義の関係性①	○		第3回目 (7/14)
8	6/22	木	幸福と正義の関係性②		○	
9	6/29	木	功利主義と道徳法則	○		
10	7/6	木	民主主義と法の支配	○		第4回目(9/1) その他①【夏季課題】 (9/1)
11	7/13	木	様々な政治体制	○		
12	9/7	木	これまでの振り返り～期末試験に向けて～		○	
13			期末試験		○	第5回目 (11/17)
14	10/12	木	日本国憲法の基本原理	○		
15	10/19	木	法と基本的人権	○		
16	11/2	木	裁判所と司法①	○		第6回目 (12/15)
17	11/9	木	裁判所と司法②		○	
18	11/16	木	これまでの振り返り～中間試験に向けて～		○	
19			中間試験		○	第7回目 (2/16)
20	11/30	木	答案返却・国境と領土問題		○	
21	12/7	木	人種・民族問題～なぜ紛争が起こるのか～	○		
22	12/14	木	市場経済と公共の福祉	○		第7回目 (2/16)
23	1/18	木	財政のしくみとその課題①	○		
24	2/8	木	財政のしくみとその課題②		○	
25	2/15	木	これまでの振り返り～期末試験に向けて～		○	第7回目 (2/16)
26			期末試験		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
地理歴史	地理A	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	緑川 孝浩

指導目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を養う。

スクーリング	全 22 回	面接指導： 15回 講義： 11回	教科書	高等学校 新地理A／新詳高等地図
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	授業ガイダンス		○	第1回(5/8)
2	4/24	月	世界の大地形と人々の生活	○		
3	5/1	月	山地・平野の地形と人々の生活		○	
4	5/8	月	海岸の地形と人々の生活	○		
5	5/15	月	生活と気候のかかわり	○		第2回(6/12)
6	5/22	月	さまざまな気候帯		○	
7	6/5	月	生活を支える世界の農業		○	
8	6/12	月	生活を支える世界の工業		○	第3回(9/12)
9	7/3	月	中国の生活・文化	○		
10	7/10	月	韓国の生活・文化	○		
11	9/4	月	東南アジアの生活・文化	○		
12	9/12	月	南アジアの生活・文化		○	第4回(11/16)
13	10/2	月	中央アジアの生活・文化		○	
14	10/16	月	北アフリカの生活・文化	○		
15	10/15	月	サハラ以南のアフリカの生活・文化	○		
16	11/6	月	ヨーロッパの生活・文化	○		第5回(12/4)
17	11/13	月	ロシアの生活・文化	○		
18	11/27	月	アングロアメリカの生活・文化	○		
19	12/4	月	ラテンアメリカの生活・文化		○	
20	12/18	月	オーストラリアの生活・文化		○	第6回(1/22)
21	1/15	月	日本の領域と領土問題		○	
22	1/22	月	時差の利用	○		
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	鈴木海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全 35 回	面接指導： 8 回 講義： 26 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	授業説明・計算の基本 (1)	○		第 1 回(5/16)
2	4/25	火	計算の基本 (2)		○	
3	5/2	火	計算の基本 (3)		○	
4	5/9	火	指数法則		○	
5	5/16	火	展開の公式 (1)		○	第 2 回(6/13)
6	5/23	火	展開の公式 (2)	○		
7	5/30	火	展開の公式 (3)		○	
8	6/6	火	中間試験		○	
9	6/13	火	テスト返却		○	第 3 回(7/11)
10	6/20	火	因数分解 (1)	○		
11	6/27	火	因数分解 (2)		○	
12	7/4	火	因数分解 (3)		○	
13	7/11	火	展開・因数分解の工夫		○	第 4 回(9/26)
14	9/5	火	根号を含む式の計算 (1)	○		
15	9/12	火	根号を含む式の計算 (2)		○	
16	9/19	火	根号を含む式の計算 (3)		○	
17	9/26	火	テスト返却		○	第 5 回(11/21)
18	10/3	火	実数 (1)		○	
19	10/10	火	実数 (2)	○		
20	10/31	火	1 次方程式		○	
21	11/7	火	不等式 (1)		○	
22	11/14	火	不等式 (2)		○	
23	11/21	火	不等式の解 (1)		○	第 6 回(12/19)
24	11/28	火	不等式の解 (2)	○		
25	12/5	火	不等式の解 (3)		○	
26	12/12	火	中間試験		○	

27	12/19	火	テスト返却		○	
28	1/16	火	集合 (1)	○		第7回(2/6)
29	1/23	火	集合 (2)		○	
30	1/30	火	命題と集合 (1)		○	
31	2/6	火	命題と集合 (2)		○	
32	2/13	火	必要条件と十分条件 (1)	○		第8回(3/5)
33	2/20	火	必要条件と十分条件 (2)		○	
34	2/27	火	期末試験		○	
35	3/5	火	テスト返却		○	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：東海調理

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	鈴木海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全 35 回	面接指導： 8 回 講義： 26 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	授業説明・三平方の定理	○		第 1 回(5/16)
2	4/25	火	三角比		○	
3	5/2	火	三角比の利用 (1)		○	
4	5/9	火	三角比の利用 (2)		○	
5	5/16	火	三角比の相互関係 (1)		○	
6	5/23	火	三角比の相互関係 (2)	○		第 2 回(6/13)
7	5/30	火	三角比の相互関係 (3)		○	
8	6/6	火	中間試験		○	
9	6/13	火	テスト返却		○	第 3 回(7/11)
10	6/20	火	鈍角の三角比 (1)	○		
11	6/27	火	鈍角の三角比 (2)		○	
12	7/4	火	正弦定理 (1)		○	
13	7/11	火	正弦定理 (2)		○	
14	9/5	火	余弦定理 (1)	○		第 4 回(9/26)
15	9/12	火	余弦定理 (2)		○	
16	9/19	火	三角形の面積		○	
17	9/26	火	テスト返却		○	
18	10/3	火	実数 (1)		○	第 5 回(11/21)
19	10/10	火	実数 (2)	○		
20	10/31	火	集合 (1)		○	
21	11/7	火	集合 (2)		○	
22	11/14	火	命題と集合 (1)		○	
23	11/21	火	命題と集合 (2)		○	第 6 回(12/19)
24	11/28	火	必要条件と十分条件 (1)	○		
25	12/5	火	必要条件と十分条件 (2)		○	
26	12/12	火	中間試験		○	

27	12/19	火	テスト返却		○	
28	1/16	火	度数分布表	○		第7回(2/6)
29	1/23	火	代表値		○	
30	1/30	火	四分位数・箱ひげ図		○	
31	2/6	火	分散・標準偏差		○	
32	2/13	火	散布図	○		第8回(3/5)
33	2/20	火	相関係数		○	
34	2/27	火	期末試験		○	
35	3/5	火	テスト返却		○	

1回	12/19	火	テスト返却		○	
2回	1/16	火	度数分布表	○		第7回(2/6)
3回	1/23	火	代表値		○	
4回	1/30	火	四分位数・箱ひげ図		○	
5回	2/6	火	分散・標準偏差		○	
6回	2/13	火	散布図	○		第8回(3/5)
7回	2/20	火	相関係数		○	
8回	2/27	火	期末試験		○	
9回	3/5	火	テスト返却		○	

回	日付	曜日	単元・学習内容	講義	実習	レポート(提出)
1	4/18	火	第1回の授業・授業内容		○	
2	4/25	火	第2回の授業		○	第1回(2/16)
3	5/2	火	第1回の復習(1)		○	
4	5/9	火	第2回の復習(2)		○	
5	5/16	火	第1回の復習(1)		○	
6	5/23	火	第2回の復習(2)		○	第2回(6/13)
7	5/30	火	第1回の復習(1)		○	
8	6/6	火	第2回の復習(2)		○	
9	6/13	火	テスト返却		○	
10	6/20	火	第3回の復習(1)		○	第3回(7/11)
11	6/27	火	第3回の復習(2)		○	
12	7/4	火	第1回の復習(1)		○	
13	7/11	火	第2回の復習(2)		○	
14	7/18	火	第4回の復習(1)		○	第4回(8/5)
15	7/25	火	第4回の復習(2)		○	
16	8/1	火	第1回の復習(1)		○	
17	8/8	火	テスト返却		○	
18	10/3	火	第5回の復習(1)		○	第5回(11/21)
19	10/10	火	第5回の復習(2)		○	
20	10/17	火	第1回の復習(1)		○	
21	10/24	火	第2回の復習(2)		○	
22	11/7	火	第3回の復習(1)		○	第6回(12/19)
23	11/14	火	第3回の復習(2)		○	
24	11/21	火	第4回の復習(1)		○	
25	11/28	火	第4回の復習(2)		○	
26	12/5	火	第1回の復習(1)		○	第7回(12/19)
27	12/12	火	第1回の復習(2)		○	

2023年度 年間教育計画 (シラバス)

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
理科	生物基礎		年間	飯塚 浩
単位数：2単位 [標準単位：2単位]				
指導目標 1. 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。				
スクーリング	全 18 回	面接指導： 13 回 講義： 0 回	教科書	数研出版 改訂版 新編 生物基礎
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	ガイダンス 第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 ①生物の多様性	○		第1回 (5/11) p16-25
2	4/27	木	②生物の共通性 ③生物の多様性と共通性の由来 ④生物の共通構造－細胞	○		
3	5/11	木	第2節 エネルギーと代謝 ①生命活動とエネルギー ②代謝と酵素	○		第2回 (6/1) p28-35
4	5/18	木	レポート返却 第3節 光合成と呼吸 ①光合成 ②呼吸	○		
5	5/25-30		中間試験			
6	6/1	木	③光合成と呼吸によるエネルギーの流れ ④ミトコンドリアと葉緑体の起源	○		第3回 (7/13) p36-p49
7	7/13	木	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ①遺伝情報を担う物質	○		
8	9/7-13(木-水)		期末試験			
9	10/12	木	第2節 遺伝情報の発見 ①遺伝情報とタンパク質	○		第4回 (11/9)
10	10/19	木	②タンパク質の合成	○		
11	11/2	木	第3節 遺伝情報の分配 ①細胞の分裂と分配 ②細胞分裂と遺伝情報の分配	○		
12	11/9	木	③細胞の分化と遺伝情報	○		第5回 (11/30)
13	11/16	木	第3章 生物の体内環境とその維持 第1節 体内環境としての体液 ①動物のからだと恒常性	○		
14	11/20-24		後中間試験			
15	11/30	木	②脊椎動物の体液と循環	○		第6回 (12/14)
16	12/14	木	第2節 腎臓と肝臓による調節 ①腎臓と肝臓の役割 ②腎臓の構造とはたらき	○		
17	2/5-9(月-金)		3年期末試験 1・2年平常授業			
18	2/15	木	3年試験返し 1・2年平常授業			

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理 1年

教科	科目		期間	担当者		
理科	科学と人間生活	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	福井 幸亮		
指導目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1. 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 2. 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 3. 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
スクーリング	全 33 回	面接指導： 8回 講義： 25回	教科書	第一 科人 705		
レポート	全 8 回	添削指導： 8回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	序章 科学技術の発展		○	
2	4/25	火	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 1 タンパク質のはたらきと構造 2 遺伝子とDNA 3 タンパク質の合成		○	第1回(5/2)
3	5/2	火	4 血糖濃度の調節 5 血糖濃度と糖尿病	○		
4	5/9	火	6 病原体の排除(1) 7 病原体の排除(2)		○	第2回(5/23)
5	5/16	火	8 ヒトの視覚(1) 9 ヒトの視覚(2)		○	
6	5/23	火	第Ⅱ章の復習	○		
7	5/30	火	前期中間試験		○	
8	6/6	火	第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用 振りかえりと基本事項		○	第3回(6/20)
9	6/13	火	1 プラスチックの特徴		○	
10	6/20	火	2 プラスチックの分類と用途(1) 3 プラスチックの分類と用途(2) 4 さまざまなプラスチック	○		
11	6/27	火	5 金属と人間生活		○	第4回(9/5)
12	7/1	土	6 金属とその精錬(1) 7 金属とその精錬(2)		○	
13	7/11	火	8 金属のさびと合金 9 資源の再利用(1) 10 資源の再利用(2)		○	
14	9/5	火	第Ⅰ章の復習	○		
15	9/12	火	前期期末試験		○	

16	9/26	火	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 1 温度と熱運動		○	第5回(10/3)
17	10/3	火	2 熱容量と比熱(1) 3 熱容量と比熱(2)	○		
18	10/7	土	4 熱の伝わり方		○	第6回(11/14)
19	10/17	火	5 仕事や電流と熱の発生		○	
20	10/24	火	6 エネルギーの移り変わり		○	
21	11/7	火	7 エネルギー資源の有効活用		○	
22	11/14	火	第Ⅲ章の復習	○		
23	11/21	火	後期中間試験		○	
24	11/28	火	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 1 太陽と太陽系		○	第7回(12/19)
25	12/5	火	2 太陽系を構成する天体		○	
26	12/12	火	3 太陽と人間生活(1)		○	
27	12/19	火	4 太陽と人間生活(2)	○		
28	1/16	火	5 天体の動き		○	第8回(2/20)
29	1/23	火	6 太陽と月の動き(1)		○	
30	2/6	火	7 太陽と月の動き(2)		○	
31	2/13	火	8 太陽の動きと太陽暦		○	
32	2/20	火	第Ⅳ章の復習	○		
33	2/27	火	後期期末試験		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理 2年

教科		科目		期間	担当者	
理科	生物基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	福井 幸亮		
指導目標：生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1. 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2. 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3. 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
スクーリング	全 33 回	面接指導： 8回 講義： 25回	教科書	数研 生基 709		
レポート	全 8 回	添削指導： 8回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性 2 生物の共通性とその由来		○	第1回(4/25)
2	4/25	火	3 生物に共通する構造—細胞		○	
3	5/2	火	第2節 エネルギーと代謝 1 生命活動とエネルギー	○		第2回(5/23)
4	5/9	火	第3節 呼吸と光合成 1 呼吸 2 光合成		○	
5	5/16	火	3 エネルギーの流れ 4 酵素の性質		○	
6	5/23	火	第1章の復習	○		
7	5/30	火	前期中間試験		○	
8	6/6	火	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝情報を含む物質—DNA		○	第3回(6/27)
9	6/13	火	2 DNAの構造		○	
10	6/20	火	第2節 遺伝情報の複製と分配 1 細胞周期とDNA 2 遺伝情報の複製		○	
11	6/27	火	3 遺伝情報の分配	○		
12	7/1	土	第3節 遺伝情報の発現 1 遺伝情報とタンパク質 2 タンパク質の合成		○	第4回(9/5)
13	7/11	火	3 細胞の分化と遺伝情報 4 遺伝子とゲノム		○	

14	9/5	火	第2章の復習	○		
15	9/12	火	前期期末試験		○	
16	9/26	火	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 1 体内での情報伝達 2 神経系による情報の伝達と調節		○	第5回(10/17)
17	10/3	火	3 内分泌系による情報の伝達と調節		○	
18	10/7	土	第2節 体内環境の維持のしくみ 1 体内環境の維持 2 血糖濃度の調節のしくみ		○	
19	10/17	火	3 血液の循環を維持するしくみ	○		
20	10/24	火	第3節 免疫のはたらき 1 からだを守るしくみ 2 自然免疫		○	第6回(11/14)
21	11/7	火	3 適応免疫 4 免疫と健康		○	
22	11/14	火	第3章の復習	○		
23	11/21	火	後期中間試験		○	
24	11/28	火	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 1 植生とその成り立ち		○	第7回(12/19)
25	12/5	火	2 植生の遷移 3 植生の再生		○	
26	12/12	火	第2節 植生の分布とバイオーム 1 植生とバイオーム 2 世界のバイオーム		○	
27	12/19	火	3 日本のバイオーム	○		
28	1/16	火	第3節 生態系と生物の多様性 1 生態系の成り立ち 2 生態系における種多様性		○	第8回(2/20)
29	1/23	火	3 生態系における生物どうしのつながり		○	
30	2/6	火	第4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス		○	
31	2/13	火	2 人間生活と生態系 3 生態系の保全		○	
32	2/20	火	第4章の復習	○		
33	2/27	火	後期期末試験		○	

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位	年間	田端 経方

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全 26 回	面接指導： 13 回 講義： 13 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 4 回	添削指導： 4 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学 期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100 法 5 段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/17	月	ガイダンス 集団行動①	○		
2	4/24	月	集団行動②		○	
3	5/1	月	集団行動③	○		第1回 レポート 配布
4	5/8	月	集団行動④ テスト		○	第1回 レポート 回収
5	5/15	月	バレーボール①	○		第2回 レポート 配布
6	5/22	月	バレーボール②		○	第2回 レポート 回収
7	6/5	月	バレーボール③	○		
8	6/12	月	バレーボール④		○	
9	6/19	月	バレーボール⑤	○		
10	6/26	月	バレーボール⑥		○	
11	7/3	月	バレーボール⑦	○		
12	7/10	月	バレーボール⑧ 実技テスト		○	
13	9/4	月	バレーボール⑨ ゲーム	○		
14	9/25	月	バレーボール⑩ ゲーム		○	
15	10/2	月	集団行動①	○		
16	10/16	月	集団行動②		○	
17	10/23	月	バスケットボール①	○		第3回 レポート 配布
18	11/6	月	バスケットボール②		○	第3回 レポート 回収
19	11/13	月	バスケットボール③	○		第4回 レポート 配布
20	11/27	月	バスケットボール④		○	第4回 レポート 回収
21	12/4	月	バスケットボール⑤	○		
22	12/18	月	バスケットボール⑥		○	
23	1/15	月	バスケットボール⑦	○		
24	1/22	月	バスケットボール⑧ 実技テスト		○	
25	2/5	月	バスケットボール⑨ ゲーム	○		
26	2/19	月	バスケットボール⑩ ゲーム		○	

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位	年間	原口 太秀
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 14 回 (全 13 回)	面接指導： 14 回 講義： 0 回	教科書	現代高等保健体育 ステップアップ高校スポーツ
レポート	全 4 回	添削指導： 4 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100 法 5 段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/19	水	B ガイダンス 体づくり運動	○		
	4/26	水	A ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5/10	水	B バレーボール 個人技能①	○		第1回 配布
	5/17	水	A バレーボール 個人技能①	○		第1回 配布
3	5/24	水	B バレーボール 実技テスト① (トス)	○		第1回 回収/第2回 配布
	5/31	水	A バレーボール 実技テスト① (トス)	○		第1回 回収/第2回 配布
4	6/14	水	B バレーボール 実技テスト② (サーブ)	○		第2回 回収
	6/21	水	A バレーボール 実技テスト② (サーブ)	○		第2回 回収
5	7/5	水	A バレーボール 個人技能習得②	○		
	7/12	水	B バレーボール 個人技能習得②	○		
6	9/6	水	B バレーボール 対人技能習得①	○		
7	10/4	水	B バドミントン 個人技能習得①	○		第3回 配布
	10/11	水	A バドミントン 個人技能習得①	○		第3回 配布
8	10/18	水	B バドミントン 個人技能習得②	○		第3回 回収/第4回 配布
	10/25	水	A バドミントン 個人技能習得②	○		第3回 回収/第4回 配布
9	11/1	水	B バドミントン 実技テスト① (打ち上げ)	○		第4回 回収
	11/8	水	A バドミントン 実技テスト① (打ち上げ)	○		第4回 回収
10	11/15	水	B バドミントン 個人技能習得③	○		
	11/29	水	A バドミントン 個人技能習得③	○		
11	12/13	水	A バドミントン 実技テスト② (サービス)	○		
	12/20	水	B バドミントン 実技テスト② (サービス)	○		
12	1/10	水	A バドミントン 対人技能習得①	○		
	1/17	水	B バドミントン 対人技能習得①	○		
13	1/24	水	A バドミントン 対人地濃習得②	○		
	1/31	水	B バドミントン 対人技能習得②	○		
14	2/7	水	A バドミントン 対人技能習得③	○		
	2/14	水	B バドミントン 対人技能習得③	○		

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位	年間	原口 太秀
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 14 回(全 13 回)	面接指導： 14 / 13 回 講義： 0 回	教科書	最新高等保健体育改訂版 ステップアップ高校スポーツ
レポート	全 4 回	添削指導： 4 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100 法 5 段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/19	水	B ガイダンス 体づくり運動	○		
	4/26	水	A ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5/10	水	B バレーボール 個人技能習得①	○		第1回 配布
	5/17	水	A バレーボール 個人技能習得①	○		第1回 配布
3	5/24	水	B バレーボール 実技テスト① (トス)	○		第1回 回収/第2回 配布
	5/31	水	A バレーボール 実技テスト① (トス)	○		第1回 回収/第2回 配布
4	6/7	水	B バレーボール 個人技能習得②	○		第2回 回収
	7/5	水	A バレーボール 個人技能習得②	○		第2回 回収
5	7/12	水	B バレーボール 実技テスト② (サーブ)	○		
	7/19	水	A バレーボール 実技テスト② (サーブ)	○		
6	9/6	水	B バレーボール 対人技能習得	○		
	9/27	水	A バレーボール 対人技能習得	○		
7	10/4	水	B バドミントン 個人技能習得①	○		第3回 配布
	10/11	水	A バドミントン 個人技能習得①	○		第3回 配布
8	10/18	水	B バドミントン 個人技能習得②	○		第3回 回収/第4回 配布
	10/25	水	A バドミントン 個人技能習得②	○		第3回 回収/第4回 配布
9	11/1	水	B バドミントン 実技テスト① (打ち上げ)	○		第4回 回収
	11/8	水	A バドミントン 実技テスト① (打ち上げ)	○		第4回 回収
10	11/15	水	B バドミントン 個人技能習得③	○		
	11/29	水	A バドミントン 個人技能習得③	○		
11	12/6	水	B バドミントン 実技テスト② (サービス)	○		
	12/13	水	A バドミントン 実技テスト② (サービス)	○		
12	12/20	水	B バドミントン 対人技能習得①	○		
	1/10	水	A バドミントン 対人技能習得①	○		
13	1/17	水	B バドミントン 対人技能習得②	○		
	1/24	水	A バドミントン 対人技能習得②	○		
14	1/31	水	B バドミントン 対人技能習得③	○		

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健	単位数：2単位	年間	蓮見恵太
指導目標 個人及び社会生活における健康・安全について自分事としてとらえ、理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 33 回	面接指導：4回 講義：24回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/18	火	1-1 健康の考え方と成り立ち	○		
2	4/25	火	1-2 私たちの健康のすがた	○		第1回 配布
3	5/2	火	1-3 生活習慣病の予防と回復		○	第1回 回収
4	5/9	火	1-4 がんの原因と予防 ・ 1-5 がんの治療と回復		○	
5	5/16	火	1-6 運動と健康		○	
6	5/23	火	1-7 食事と健康		○	第2回 配布
7	5/26	金	※前期中間試験		○	第2回 回収
8	6/6	火	※前期中間試験 返却		○	
9	6/13	火	1-8 休養・睡眠と健康		○	
10	6/20	火	1-9 喫煙と健康		○	第3回 配布
11	6/27	火	1-10 飲酒と健康		○	第3回 回収
12	7/1	土	1-11 薬物乱用と健康		○	
13	7/11	火	1-12 精神疾患の特徴 ・ 1-13 精神疾患の予防		○	
14	9/5	火	1-14 精神疾患からの回復		○	
15	9/		※前期 期末試験	○		
16	9/26	火	1-15 現代の感染症	○		第4回 配布
17	10/3	火	1-16 感染症の予防		○	第4回 回収
18	10/7	土	1-17 性感染症・エイズとその予防		○	
19	10/17	火	1-18 健康に関する意思決定・行動選択 ・ 1-19 健康に関する環境づくり		○	
20	10/24	火	2-1 事故の現状と発生要因		○	
21	11/7	火	2-2 安全な社会の形成		○	第5回 配布
22	11/14	火	2-3 交通における安全		○	第5回 回収
23	11/		※後期中間試験		○	
24	11/28	火	※後期中間試験 返却		○	
25	12/5	火	2-4 応急手当の意義とその基本		○	
26	12/12	火	2-5 日常的な応急手当 ・ 6 心肺蘇生法		○	第6回 配布
27	12/19	火	2-1 ライフステージと健康		○	第6回 回収
28	1/16	火	2-2 思春期と健康		○	
29	1/23	火	2-3 性意識と性行動の選択		○	
30	2/6	火	2-4 妊娠・出産と健康		○	
31	2/13	火	2-5 避妊法と人工妊娠中絶		○	
32	2/20	火	2-6 結婚生活と健康		○	
33	2/		※後期期末試験		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科		科目		期間	担当者	
書道	書道I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]		年間	石見 仁唯奈	
指導目標						
1. 古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形を捉える 2. 作品や書の伝統を見つめ、創作作品での表現を工夫する						
スクーリング	全 13 回	面接指導： 8回 講義： 5回	教科書	光村図書 書道I		
レポート	全 3 回	添削指導： 5回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学期： 2回	副教材	プリント		
定期試験の 評価割合	%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/19. 26	水	書道1 導入、ペン字教習		○	第一回 (5/24、31)
2	5/10. 17	水	毛筆…楷書を学ぶ①「九成宮醴泉銘」	○		
3	5/24. 31	水	毛筆…楷書を学ぶ②「九成宮醴泉銘」	○		
4	6/7. 7/5	水	漢字仮名交じり①創作への取組み (文化祭)	○		
5	7/12. 19	水	漢字仮名交じり②創作への取組み (文化祭)	○		
6	9/6. 9/27	水	毛筆…楷書を学ぶ③「雁塔聖教序」		○	第二回 (10/18、 25)
7	10/4. /11	水	毛筆…楷書と行書の違いを学ぶ①「蘭亭序」		○	
8	10/18. 25	水	毛筆…楷書と行書の違いを学ぶ①「蘭亭序」	○		
9	11/1. /8	水	仮名について学ぶ①「いろは」		○	第三回 (1/10、17)
10	11/15. /29	水	仮名について学ぶ②「高野切」	○		
11	12/13. /20	水	仮名について学ぶ③「蓬莱切れ」	○		
12	1/10. /17	水	創作「雨ニモマケズ」		○	
13	1/24. /31	水	創作 自分の好きな言葉を書こう	○		
14						
15						
16						

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	コミュニケーション英語 I (1年次)	単位数： 2単位 [標準単位： 単位]	年間	小田井 由里香

指導目標

1. 教科書にある平易な単語や文法を用いた英文を理解できるようにする。
2. 教科書で学んだ平易な単語や文法を用いて、自己表現ができるようにする。
3. 題材を通して、世界のさまざまな出来事や文化についての理解を深める。

スクーリング	全 26 回	面接指導： 15回 講義： 11回	教科書	All Aboard! English Communication I
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期：前期 2回 後期 2回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	月	Pre-Lesson 1	○		第 1 回(4/24)
2	4/24	月	Pre-Lesson 2	○		
3	5/01	月	Lesson 1 [1]	○		第 2 回(5/08)
4	5/08	月	Lesson 1 [1], [2]		○	
5	5/15	月	Lesson 1 [2]	○		
6	5/22	月	試験対策	○		
7	5/29	月	前期中間試験			第 3 回(6/05)
8	6/05	月	Lesson 1 単語を中心とする学習		○	
9	6/12	月	Lesson 1 文法を中心とする学習		○	第 4 回(7/03)
10	6/19	月	Lesson 1 総復習	○		
11	6/26	月	予備日 ※各種演習		○	
12	7/03	月	Lesson 2 [1]	○		
13	7/10	月	Lesson 2 [2]		○	
14	9/04	月	試験対策	○		
15	9/11	月	前期期末試験			第 5 回(9/25)
16	9/25	月	Lesson 2 [1], [2]	○		
17	10/02	月	Lesson 2 単語を中心とする学習		○	第 6 回(11/06)
18	10/16	月	Lesson 2 文法を中心とする学習		○	
19	10/23	月	Lesson 2 総復習	○		
20	11/06	月	予備日 ※各種演習		○	
21	11/13	月	試験対策	○		
22	11/20	月	後期中間試験			
23	11/27	月	Lesson 3 [1]	○		第 7 回(12/04)
24	12/04	月	Lesson 3 [1], [2]		○	
25	12/18	月	Lesson 3 [2]	○		第 8 回(2/19)
26	01/15	月	Lesson 3 単語を中心とする学習		○	
27	01/22	月	Lesson 3 文法を中心とする学習		○	
28	02/05	月	Lesson 3 総復習	○		
29	02/19	月	試験対策	○		
30	02/26	月	後期期末試験			

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	コミュニケーション英語 I (2年次)	単位数： 2単位 [標準単位： 単位]	年間	井坂 朝子

指導目標

1. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。
2. 教科書レベルの平易な文で、自分の考え、感情を伝えられるようにする。
3. 題材の背景にある自然、文化について理解を深める。

スクーリング	全 32 回	面接指導： 16回 講義： 12回	教科書	All Aboard! English Communication I
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期：前期 2回 後期 2回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	Lesson4 [1]	○		第1回(4/20)
2	4/20	木	Lesson4 [1]		○	
3	4/27	木	Lesson4 [2]		○	第2回(5/11)
4	5/11	木	Lesson4 [2]		○	
5	5/18	木	Lesson4 まとめ	○		
6	5/25	木	中間試験		○	
7	6/1	木	Lesson5 [1]	○		第3回(6/15)
8	6/15	木	Lesson5 [1]		○	
9	6/22	木	Lesson5 [2]		○	第4回(7/13)
10	6/29	木	Lesson5 [2]		○	
11	7/6	木	Lesson5 まとめ	○		
12	7/13	木	文法 動名詞	○		
13	7/20	木	試験対策	○		
14			期末試験			
15	9/28	木	Lesson6 [1]	○		第5回(10/5)
16	10/5	木	Lesson6 [1]		○	
17	10/12	木	Lesson6 [2]		○	第6回(11/9)
18	10/19	木	Lesson6 [2]		○	
19	11/2	木	Lesson6 まとめ	○		
20	11/9	木	文法 受け身	○		
21	11/16	木	試験対策	○		
22			中間試験			
23	11/30	木	Lesson7 [1]	○		第7回(12/7)
24	12/7	木	Lesson7 [1]			
25	12/14	木	Lesson7 [2]		○	第8回(2/8)
26	12/21	木	Lesson7 [2]		○	
27	1/11	木	Lesson7 まとめ	○		
28	2/1	木	Communication3 乗り換え案内	○		
29	2/8	木	文法 比較表現	○		
30	5/18	木	1年間のまとめ	○		
31	2/15	木	試験対策	○		

32		学年末試験			
----	--	-------	--	--	--

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者		
外国語	コミュニケーション英語 I (3年次)	単位数： 2単位 [標準単位： 単位]	年間	井坂 朝子		
指導目標						
1. 英文の基本構造を理解し、意味のまとまりで大意をつかめるようにする。						
2. 基礎的文法事項の習得により、自分の考えを、感情を伝えられるようにする。						
3. 世界で起きている事象に目を向け、幅広い視野を持たせる。						
スクーリング	全 26 回	面接指導： 16回 講義： 6回	教科書	All Aboard! English Communication I		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期：前期 2回 後期 2回	副教材	授業プリント (配布)		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	Lesson 8 [1]	○		第1回(4/20)
2	4/20	木	Lesson 8 [1]		○	
3	4/27	木	Lesson 8 [2]	○		第2回(5/18)
4	5/11	木	Lesson 8 [2]		○	
5	5/18	木	Lesson 8 まとめ・試験対策	○		
6			中間試験		○	第3回(7/6)
7	6/1	木	Lesson 9 [1]	○		
8	7/6	木	Lesson 9 [1]			
9	7/13	木	Lesson 9 [2]	○		第4回(7/20)
10	7/20	木	Lesson 9 [2]・試験対策	○		
11			期末試験			
12	9/28	木	Lesson10 [1]	○		第5回(10/19)
13	10/5	木	Lesson10 [1]		○	
14	10/12	木	Lesson10 [2]	○		
15	10/19	木	Lesson10 [2]		○	
16	11/2	木	Lesson10 [3]	○		第6回(11/9)
17	11/8	木	Lesson10 [3]		○	
18	11/9	木	Lesson10 まとめ	○		
19	11/16	木	試験対策	○		
20			中間試験			
21	11/30	木	Reading2 Alone①	○		第7回(12/7)
22	12/7	木	Reading2 Alone②	○		
23	12/14	木	Reading2 Alone③	○		第8回(12/21)
24	12/21	木	Reading2 Alone④	○		
25	2/1	木	試験対策	○		
26			学年末試験			
27						
28						
29						
30						
31						

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：

教科	科目		期間	担当者		
情報	社会と情報	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	糸賀雅史		
指導目標						
1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響の理解						
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、効果的にコミュニケーションを行う能力の育成						
3. 情報社会に積極的に参画する態度の育成						
スクーリング	全13回	面接指導： 8回 講義： 5回	教科書	実教出版 高校社会と情報新訂版		
レポート	全6回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/13	木	インターネットと情報社会	○		第1回(5/11)
2	4/27	木	SNSと個人情報の保護		○	
3	5/11	木	ビジネスにおける情報化	○		第2回(6/1)
4	5/18	木	ワンツーワンマーケティングの事例分析		○	
5	6/1	木	サイバー犯罪とセキュリティ	○		第3回(7/20)
6	7/13	木	知的財産権		○	
7	10/12	木	著作権1	○		第4回(11/2)
8	10/19	木	著作権2	○		
9	11/2	木	アナログとデジタル	○		第5回(11/16)
10	11/9	木	文字・音声・画像のデジタル表現		○	
11	11/16	木	プロトコルとTCP/IP	○		第6回(12/21)
12	11/30	木	メディアリテラシー	○		
13	12/14	木	コミュニケーションとメディア		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者		
現代文明論	高校現代文明論	単位数：1単位 [標準単位：1単位]	通信方式	飯塚 浩		
指導目標						
自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培う。						
スクーリング	全 5 回	面接指導：3回 講義：2回	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論		
レポート	全 3 回	添削指導：3回 その他：回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学期：回	副教材	配布プリント など		
定期試験の 評価割合	%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1			校長講話		○	
2			学習テーマ：「何を学ぶ科目なの？」・「調査の方法」	○		第1回 (/)
3			学習テーマ：「プレゼンテーション」	○		第2回 (/)
4			学習テーマ：「人の生き方に学ぶ①」 山田 守 (未来を考えた建築)		○	
5			学習テーマ：「人の生き方に学ぶ②」 松前 重義 (人との出会い)	○		第3回 (/)